



ご相談ください
私たち社会福祉士です

障害者週間

「存じですか？」 障害者マーク

ともに生きるまちづくりをめざして、12月3日から9日までは、障害者基本法で障害者週間に定められています。障害者週間は、障害を持つ方への理解を深め、諸障害を持つ方の社会参加を図る啓発期間です。今回、障害者週間に関連して、障害者の方の生活を支える主なマークを紹介いたします。まちでこのマークを見かけたらご理解とご協力をお願いします。



このマークは、障害者が利用できる建築物や施設であることを明確に示す世界共通のマークで「国際シンボルマーク」といいます。このマークは「車いす使用者」「肢体不自由者」だけを対象としているという誤解が多いのですが、このマ

ークの使用対象は「すべての障害者」となっています。日本では、このマークを個人の車に表示する方が多いですが、実はこのシンボルマークの本来の趣旨とは異なった使いかたなのです。しかし、一般的には「その車には障害者が乗っています」という表示として広く知られています。ただし、マークには法的な効力はな



このマークは「オストメイ トマーク」です。オストメイ トとは、病気などが原因で腸壁に人工肛門・人工ぼう胱を使用している方をいいます。ストーマ（人工排泄つ孔）用器具の洗浄や腹部の洗浄などオストメイ トの方が利用できるトイレの入口や室内誘導プレートに表示されています。



このマークは「ハートプラスマーク」といい、身体内部に障害を持つ人を表しています。身体の内臓（心臓、呼吸器、じん臓、ぼう胱・直腸、小腸、免疫機能）の障害は外見からわかりにくいいため、さまざまな誤解を受けることがあります。このマークは内部障害の方が自発的に使用されています。



ほじょ犬（補助犬）とは、目や耳、体の不自由な人のために働く盲導犬、介助犬、聴導犬のことをいいます。このマークがあるお店、施設では、ほじょ犬との同伴が可能です。このことを示しています。

さてこのマーク、最近見かけることも増えてきましたが、皆さん、何のマークかご存じですか？



このマークは道路交通法によるマークです。肢体不自由であることを理由に、自動車免許に条件を付けられている方が、車を運転する場につける「四葉マーク」です。この表示をつけた車に対して幅寄せなどをすると処罰されます。なお、表示は努力義務になっています。この四葉マークとは別に、「駐車禁止指定除外指定車」の標章があります。対象障害の方が使用または乗車している場合に使用できます。ただし、これはマークではなく、警察署に届け出をして受け取る標章です。各障害の程度に詳細な決まりがありますので、事前に最寄りの警察までお問い合わせください。この標章資格を受けることにより、記載された指定区域の駐車禁止の規制の対象から外れます。

これからも町では障害のある、なしにかかわらず安心して生活できるまちづくりをめざしていきます。

福祉課
社会福祉士 頼住順子
☎84-0316

※「お元氣ですか？保健師です」は休載しました。

子育てポイント

かんしゃくおさまるかな...

言葉が不十分な小さいうちは、ちょっとした表情や行動の変化にも注意が必要です。かんしゃくは、成長の過程で怒りを表す手段のひとつで、特に1〜2歳の自我が芽生える時期ややりたいことが増えてくる時期に多いようです。このころは、自分で「できる」という気持ちはあっても、「できる」ことに限りがあるため、イライラして怒り出してしま

かんしゃくがおさまったというケースもあるようです。かんしゃくを起さされると親は、イライラして冷静に対応することができないケースが多いようです。でも、そんなときは、別の部屋に連れて行って、落ち着くまで抱きしめるなど、気持ちをうまく切りかえられるきっかけを作ってあげましょう。気持ちを言葉でうまく伝えられるようになれば、だんだんにおさまってきますから、その都度、子どもの様子をみて援助してあげましょう。

開成町子育て支援センター
酒田保育園
☎82-2277
酒田子育て支援室
☎82-1222



お店探検「花屋さんを探検中」

学期には、町内の公園の場所を調べ、実際にいくつかの公園へ行ってきました。同じ町に住んでいても自分の知らない公園や初めて遊ぶ道具もあったようです。汗びっしょりになりながら、楽しく遊ぶことを通して、学ぶことができました。

今 100 生き生き 子育ては「生活科の学習」
開成小学校教諭 岩田 千佳

コンビニエンスストアでは、ふだん入ることのできない冷蔵庫の中に入れていただき、店員さん側から見たお店の様子を興味深く見せていました。また、新聞販売店では、配達する人がとても早起きであることや、一日に配達する軒数の多さに驚いたようです。さらに、ほかのグループの子どもたちは、「本

学期には、地域のお店の方々に協力していただき、お店探検へ行くことができました。事前に調べたいことを整理し、お店の人へのあいさつやインタビューなどを練習し、当日を迎えました。私の引率したグループの子どもたちは、コンビニエンスストアと新聞販売店に行きました。